

## Contents

経営からのメッセージ	1
編集方針	5
大和証券グループの概要	6
企業理念と経営ビジョン	7
大和証券グループのCSR	8
□ 大和証券グループ CSR 重要課題	8
□ 大和証券グループのステークホルダー	8
□ CSR 重要課題の検証と社会的要請の変化への対応	9
□ ステークホルダーとのコミュニケーション	10
□ CSR 推進体制	10
□ 健全なバリューチェーンの構築と維持	10
□ 大和証券グループのCSRにおけるマテリアリティ（重要側面）の特定	11
□ マテリアリティ特定プロセス	12
<b>マネジメント報告</b>	
事業活動を通じた取組み	13
□ クローズアップ① 「ファンドラップ」の取組み	15
□ クローズアップ② アセットマネジメント部門の取組み	16
□ クローズアップ③ 決済機能	19
□ クローズアップ④ さまざまな部門が担う情報発信	21
コーポレート・ガバナンス	26
コンプライアンス	29
リスク管理	31
IT ガバナンス・情報セキュリティ	33
<b>社会性報告</b>	
お客様とのかかわり	34
株主・投資家の皆様とのかかわり	37
社員とのかかわり	39
人権教育・啓発への取組み	43
社会とのかかわり	44
□ ステークホルダーとの対話 ～東日本大震災の被災地にて～	47
□ 大和証券グループ津波復興基金の10年を振り返る	48
<b>環境報告</b>	
環境への取組み	51
社外からの評価	53
GRI ガイドライン・ISO26000 内容索引	54
CSR 関連データ集	62
用語集	66
第三者保証報告書	67

## 編集方針

---

本報告書は、大和証券グループのCSR活動をわかりやすく開示すること、および現状と課題を自己評価することを目的に2002年度から継続的に発行しています。なお、『CSR報告書2015』では、年次報告書(ディスクロージャー誌)との統合を視野に、両報告書全体でステークホルダーへの積極的な情報開示に努めています。

環境・社会・ガバナンス(ESG)情報のエッセンスを年次報告書に盛り込んだことから、『CSR報告書2015』はPDF版のみとし、ISO26000、GRIサステナビリティ・レポート・ガイドラインを踏まえて網羅的な情報開示に努めました。GRIガイドラインについては、第4版を参照し、CSRマテリアリティの特定を行ないました。また、誌面の色使いについては、カラーユニバーサルデザインの考え方を参考とし、見やすさに配慮しました。

文中の下線が引いてある用語については、P.66「用語集」をご参照ください。

## 対象読者

---

お客様、株主・投資家、社員、お取引先、地域社会をはじめ ISO26000 が定義する大和証券グループの幅広いステークホルダーの皆様です。

## 報告対象範囲

---

原則として当社グループ主要会社。ただし全項目についてそれら主要会社すべての情報を網羅しているわけではなく、各社の規模や事業内容などに応じて記載しています。数値データには、それぞれの対象範囲を明記しています。なお、「大和証券グループ」はグループ全体、「大和証券グループ本社」は株式会社大和証券グループ本社、「大和証券」は大和証券株式会社を指し、区別しています。

## 報告対象期間

---

2014 年度(2014 年 4 月～ 2015 年 3 月)

一部、期間外の情報を含みます。

## 発行時期

---

2015 年 9 月

(前回発行:2014 年 8 月、次回発行予定:2016 年 9 月)

## お問い合わせ先

---

株式会社大和証券グループ本社 広報部 CSR 課

電話番号 03-5555-1111 (代表) e-メールアドレス daiwacsr@daiwa.co.jp URL <http://www.daiwa-grp.jp/csr/>

## 表紙の写真について

サステナブル(持続可能)な社会の実現への想いを込めて、表紙を当社グループ社員の子どもの笑顔で飾りました。彼ら・彼女らが大人になる頃の未来社会を幸せなものとするために、企業としての役割、大人としての責任を果たしていきます。

---